

2023年度全教広島「奨学生」30名に支給 「コロナ禍・物価高で貧困と格差拡大が深刻化」

94名の応募で、30人へ支給しました。

全教広島教育基金による

「奨学生」制度は「少しでも子どもたちがお金の心配なく進学できるように」との思いで2001年度からスタートした制度で、これまで700名を超える子どもたちに奨学金を支給してきました。1人につき5万円の給付と奨学金としてはわずかな額ではありますが、2023年度は、30名の方に届けることができました。3月8日に審査会を開催し、11日には各家庭に送付することができました。

今回は新聞等にも紹介されたこともあり、94名からの応募がありました。また、書記



生健会、新婦人、教育研究所の方に審査をお願いしました。

局への問い合わせが県内各地から相次いだのも今年の特徴でした。

コロナ禍で貧困と格差拡大が深刻化

た。多くの方にカンパ等ご協力をお願いしましたことに感謝いたします。

〈申請書に寄せられた主な実態から〉概要〉

8日に開催した審査会には、生健会、新婦人、教育研究所の方に審査をお願いしました。どのケースも深刻な実態が多く、選考は4時間にも及びました。審査にかかわっていたいただいた生健会の大平さんからは、「深刻な実態が多く一時的な支給だけでは対応できないケースが多い」と話されました。また、一人親家庭の増加や物価高の中で貧困の問題がさらに深刻化している実態も明らかになっていきます。出願用紙にはどの家庭からもひとり親、低収入、失業、病気など、深刻な経済的不安を訴えるのと同時に、「なんとか子どもを高校に行かせてやりたい」との保護者の方の強い思いが書かれていました。深刻な実態にもかかわらず、卒の関係で支給できなかった方々がいたことは残念です。その方には相談窓口の紹介をさせていただきまし

- ・ コロナによる収入減や、父の単身赴任などで出費が増えたこともあり、入学費用の負担が難しい。
- ・ 父の収入のみで生活している。母が体調が悪く通院などもあるため仕事ができない。
- ・ 進学後、通学費用や学費が支払えるか不安。
- ・ 離婚予定だがお金がないため世帯分離をして同居をしている状況。本人は家計を支えるため働きながら通える定時制高校への進学を希望している。
- ・ 毎月の収入のほとんどが生活費となり、教育費の負担が大きい。本人は高校で資格取得に向けた勉強がしたいと強く希望しているが、高校進学に経済的な不安がある。
- ・ 収入は変わらないのに物価高騰により家計が苦しい状態が続いており、高校進学にあたっての支援がもらえると助かる。

あらくさ

防衛省は3月4日、日本製鉄瀬戸内製鉄所呉地区(以下:日鉄呉)の跡地約百三十ヘクタールを活用して、呉市に新たな「多機能な複合防衛拠点」を設ける意向を呉市・広島県に伝えました。防衛省の「日鉄呉跡地の活用案」を「雇用創出が重要であり、前向きに進めるべきだ」「経済効果があり歓迎する」「自衛隊で街が潤う」との声があります。また、説明会で防衛省は、「地元の経済にとつてもいいことになるようにしたい」「物品調達や建設は地元企業に取ってもらいたいし、取れるように取り組んでいきたい」と答弁しました。

しかし、軍需は公共事業ではありません。軍需産業での雇用創出、経済の活性化が呉市民・広島県民にとつてあるべき姿なのでしょうか。そのような方向ではなく、未来に希望が持てる跡地利用こそ求められています。呉を再び軍事都市にするか、これからも平和産業港湾都市の理想を掲げていくのかが問われています。(K)

プリンスホテル豪華ランチツアー



共済加入者・紹介者を抽選で27名ご招待

2月23日(金)、プリンスホテルで豪華ランチツアーを27名(うち未組11名)の参加で行いました。これは「キツトいいことあるよキャンペーン」期間中に全教共済の加入者とその紹介者の中から抽選でご招待したものです。

天気が心配されましたが、ホテルの22階から見ると瀬戸内の絶景には参加者みんな満足。おいしいコース料理にも舌鼓。自然と会話も弾みました。テーブルごとに自己紹介のあと、全体でも自己紹介をしました。その時、自身が加入している共済の話題に触れてもらいました。総合共済のよさが語られる中、自動車保険に触れる発言も多く、「全教自動車保険なら間違いない!」「他と比べて、ますますこっちの方が良いと感じた」と推してくれました。参加者の中には「これから変更手続きをしようと考えている」という方や、皆さん



【ゲーム等で楽しく交流しました】

の話聞いて、見積もりしてみようと思える方もいました。

楽しい共済クイズやじゃんけん大会で会場は盛り上がりました。成績処理などで忙しい日々ですが、ホッと一息できるzeitakuna時間を楽しむことができました。

やはり共済の加入者が、自らの体験を語るのとが一番説得力があると実感しました。今回の出会いをきっかけに、さらに広いつながりができたイベントとなりました。

教育全国署名集会 3,080,330筆提出

2月21日「ゆきとどいた教育を求める全国署名」を提出しました。紹介議員は会派を超えて76名。参加者から署名に込めた思いや現場の実態が語られ、改めてゆきとどいた教育の実現と請願採択を訴えました。集会后に届いた署名を合わせ、308万筆あまり、35年間累計で4億8千万筆を超えました。全教広島からは、全県から7295筆がふくまれています。4月からは「えがお署名」もスタートします。

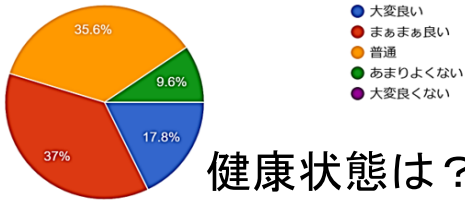


広島市ゆきとどいた教育をすすめる会は、2月議会に5251筆の署名と合わせて提出しました。請願の主旨説明は、保護者の方にお願いしました。全会派に紹介議員をお願いし、日本共産党6名の方に紹介議員となつていただきました。

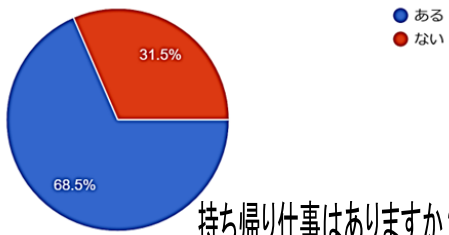
審議の結果、継続審議となりました。

2023年度 新規採用者アンケート中間報告

現在の健康状態は？（最も近いものを選んでください）
73件の回答



持ち帰り仕事はありますか？
73件の回答



全教広島は年度末にあたり23年度新規採用者の方へのアンケートを行いました。広島県内の約七百名お願いしたところ、約一割に当たる73名から返信が寄せられました。これまで何度かアンケートを行いました。返信された割合はこれまでで最高になりました。主な回答結果は次のようなものです。

- 講師経験はありますか。↓「ある77% ない23%」
- 健康状態は「大変良い・まあまあ良い30%、あまりよくない20%」
- 持ち帰り仕事はありますか。↓「ある35% ない65%」
- 休日出勤はありますか。↓「ある33% ない67%」
- 組合に興味はありますか。↓「ある27%」

また、「組合に興味がありますか」の問いに対して27%が、興味があるとの回答でした。これらの声を参考に、教育委員会への要請や組合活動に生かしたいと思えます。

寄せられた主な意見（自由記述）は次のようなものです。
○出勤すると頭痛がする。最近寝れない。
○初任者研修の学びづくり案の作成が毎週あり、かなり負担だった。休みの日に作業しなければならず、精神的にも肉体的にもしんどいものであった。
○残業や、教員がしなくても良いであろう仕事を減らしてほしい。
○給食の準備や、一緒に食べて片付けまですると45分の休憩時間が無いのでどうにかしてほしい。

海田支部

呉市のいじめ不登校を考える

呉市のいじめ不登校を考える集会は、市内で2021年に起こった中2男子生徒の事件が昨年9月の教育長の謝罪で終わったかの状況にあります。その問題点と再発防止策の問題点を明らかにし、この死を無駄にしないため、広くこの問題を知らせようと「呉市の教育を語り合う会」が主催し、全教も自分たちの課題である「いじめ不登校問題」を市民や当事者とともに考えようと参加しました。

はじめに、「会」より、問題提起がなされました。詳しくは、教育研究所報「ヒロシマの子育て・教育」1月号と2月号で論じられていますので、ご参照ください。3月号まで続きます。

討論では、不登校の子を持つ親、その支援者、行政の相談員、組合員、スクールカウンセラー、元教員、市民などの参加者がそれぞれの意見を述べ合いました。組合員からは、『いじめは学校の中で多くの目で子どもを見ることが必要で、そういうシステムの整備が急務』である、『いじめの解決には初期対応が大事』『スクールカウンセラーは小学校に常駐してほしい』等現場の状況や課題が出されました。保護者からは、『不登校になった子どもの居場所を求めて、学校や行政に行ったがどこも対応してもらえなかった。最後に行きついた今の支援者に出会えた』と苦しい思いを語られました。学校の不登校対応が非常に遅れている現状も出され、ともに行政に対して対策を求めていくことの必要性が浮き彫りになりました。呉市の不登校は令和4年度は小中で680名前年を150人も増加しています。全国の30万人の不登校児童生徒の場合、11万5000人がどこにも支援の手が差し伸べられていないという実態があります。私たちは学校の中だけでなく、学校外で保護者や市民の声を聴き、行政に対しても声をあげていくことが求められているのではないのでしょうか。全教海田としても、いじめ・不登校問題が深刻な状況にあることから、当事者、支援者、市民とともに、この問題を引き続き考えたいと思います。

（全教海田支部「ぜんかい」ニュースから抜粋）

日鉄呉跡地への防衛拠点構想「軍都」復活許さない！



未来に希望が持てる跡地利用こそ！

①この跡地は、旧軍港市転換法に基づき、平和産業の用地として取得したものです。跡地に「多機能な複合防衛拠点を整備」すれば、「防衛施設」としては大拡張とな

り、「平和産業港湾都市の完成」という軍転法に掲げられた目的に反することになります。

②呉基地が「敵基地攻撃（反撃）」の先兵にされるようとしています。今回のようにさらなる軍事関係の施設を増やすことは、相手の反撃対象地域としてますます狙われ、呉市民、広島県民を危険にさらすことになりま

③安全保障は「国の専管事項」だといって口を閉ざすことはあってはなりません。今回の防衛省からの申し入れは、呉を再び軍事都市にするか、これからも平和産業港湾都市の理想を掲げていくのか、今後の呉市・広島県を大きく左右することにつながります。

④防衛省の「日鉄呉跡地の活用案」を「雇用創出が重要であり、前向きに進めるべきだ」「経済効果があり歓迎する」との声があります。しかし、軍需産業での雇用創出、経済効果が呉市民・広島県民にとってあるべき姿なのでしょうか。そのような方向ではなく、未来に希望が持てる跡地利用こそ求められています。



【軍都復活許さない！】

15日には、県知事あてに「自衛隊からの日本製鉄跡地の防衛拠点施設としての利用申し入れを拒否すること」を求める要請行動を行いました。25日には、防衛省への要請行動も計画されています。

2024年度 特別支援学校・学級担任のための 特別支援教育入門講座パート1

～生単と作業の授業をつくる～

「特別支援教育」のだいご味の一つが、「生活単元学習(生単)」「作業学習」です。そこには、算数(数学)や国語といった「教科学習」だけでは得られない楽しさがいっぱいあります。障害児教育にとっては、実体験はとても重要です。また、学習は生活の中で活用することで定着していきます。楽しく役に立つ生単と作業についてみんなで交流しましょう。はじめて特別支援学級・学校の担任になった先生方、大歓迎!気軽に参加下さい。交流タイムでは、日ごろ困っていることなども出し合います。

- 日時: 2024年4月20日(土) 14:00~16:00
- 会場: 広島市東区民文化センター・工作実習室 (広島市東区東盤原町 10-31)
- 日程と内容
 - 14:00~14:30 「生活単元学習の授業」(中学校特別支援学級)
 - 14:30~15:00 「作業学習の授業」(特別支援学校中学部)
 - 15:00~16:00 「質問・交流タイム」

※小学校・中学校・特別支援学校間の交流や日ごろの疑問など... *日程は多少前後する場合があります。開始・終了時間は変更ありません。

参加費: 無料

■参加申込み書(当日参加も大歓迎ですが、準備の関係でなるべく事前申し込みをお願いします。)

お名前	連絡先(仮・メール等)	入門講座パート2(学名)
所属		テーマ「平和教育」
知りたいこと		6月22日(土)午後2~4時
困っていること		東区民文化センター

主催(申し込み先): 全広島教職員組合(全教広島) 障害児教育部
〒732-0052 広島市東区光町 2-9-24 広島ロードビル Tel 082(264)7850
Fax 082(261)1912
(メールでの申込先) 全教広島 zenkyo@enjoy.ne.jp

第42回広島市生活指導研究協議会 学級びらき講座

子どもたちとの出会いを楽しく元気なものにしたい! 大事にしたいものは何?どうやって伝えるの?一緒に学級びらきを体験してみましょう!
今年は対面とオンライン両方で行います

場所: 二葉公民館6階研修室1A1B
日時: 2024年4月6日(土)
14:00~15:20(受付13:30~)
15:20~16:00(質問・交流タイム)

オンライン参加をご希望の方は Zoom 視聴で

右の2次元コードから入って手続きするか matui-f@hcat.ne.jp にメールを送ってください

参加費は無料

お問い合わせ連絡先 松井 携帯電話 090 2869 9412

主催 広島市生活指導研究協議会 共催 広島市教職員組合(全教)